



令和4年度 向陽中学校経営・運営ビジョン

＜経営・運営基本方針＞

自らの人生を切り拓くたくましさと学力を育み、他に貢献できる「生き抜く力」を身につけさせるために、次の4つを柱とし保護者、地域と連携して、活力ある学校づくりに邁進する。

1. 知・徳・体の調和のとれた「生き抜く力」を育成
2. 情熱と使命感を持ち常に学び続ける教職員集団
3. 未来を切り拓くキャリア教育を推進
4. 保護者や地域の信頼や期待に応える

相双教育アピール

新しい学びのかたちを相双から

＜相馬市教育委員会重点・努力目標＞

【地域づくりを支え、心豊かに
力強く生き抜く子どもの育成】
「(方針) 相馬市の子どもたちにこれからの時代を生き抜くための必要な力を身につけさせるために、RST・ICT活用を学校教育の両輪として進めていく。」＜確かな学力・豊かな心・健やかな体・特別支援教育・キャリア教育＞

教育目標

「知性」「品格」「至誠」「体力」
を身につけた活力ある生徒

重点目標

気づき、考え、行動できる

重点目標を支える
育てたい4つの力

＜学校の実態＞

- ・思いやりがあり、他と協調できる
- ・読解力と情報活用力が十分に身につけておらず論理的に考え、判断する力が弱い

＜めざす生徒像＞

知性：自ら学び、自ら考え、自らの言葉で表現できる
品格：挨拶や返事、言葉遣いがきちんと身につけている
至誠：思いやりの気持ちをもって、協力して生活できる
体力：自らの心や体を大切にし、あたり前のことを実行できる

＜めざす学校の姿＞

- ・生徒や保護者の思い立った、誰一人取り残さない学校
- ・ゆとりを持ち、チーム力や教員の指導力が十分に発揮される学校

＜JRCのめざす目標＞【継続】

- ・「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」(実践目標)
- ・「気づき、考え、実行する」(態度目標)

＜ESDがめざす教育＞【発展】

- ・地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身につける

※ESD…「持続可能な開発のための教育」(SDGsとの関連)

＜自分らしく前向きに

行動する力＞

自分を見つめ思いや願いを持ち、困難さや苦手意識があっても逃げず、主体的に行動できる力

＜他のために協働する力＞

他に関心を持ち、コミュニケーションを大切にして、集団や社会に貢献し、進んで協働できる力

＜見通して対応する力＞

現在や未来の課題に気づき、解決のための情報を収集し、計画立案、実践して、振り返り、新たなものを創造できる力

＜夢や目標を持ち

努力する力＞

視野を広げ、将来の生き方を考え志のある夢や目標を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組むことができる力

＜確かな学力＞

- 1 課題に気づき、解決の見通しを考え、協働（伝え合う）して課題を解決する喜び（満足感、達成感）を感じる授業をつくりまします
 - 「授業スタンダード」に基づく、新しい生活様式を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - RS（リーディングスキル）を意識した授業による読解力の向上
 - ICT活用による個別最適化された学びの推進
 - 新聞・コラムを活用した読解力や書く力の育成
 - 2 学びの習慣化の指導を充実します（家庭や小学校との連携）
 - 「向陽スタンダード（Kスタ）」に基づく家庭学習の質的向上と習慣化、自己マネジメント力の育成
 - 3 実生活や社会の変容へとつながることができる学びの実施に努めます
 - ESDを位置付けたカリキュラムの作成及び授業改善
- ⇒各種学力検査結果：県・全国平均＋1

＜健康・体力＞

- 1 心身の発達に関する指導を充実します
 - 保健体育の授業や特別活動における指導の充実と運動に親しむ態度の育成及び運動習慣の定着
 - 目的意識や具体的目標をもたせた諸活動や部活動の指導
 - 心のケアに関する指導の充実（SCの活用と関係機関との連携）
 - 2 望ましい生活習慣の育成を図ります
 - 新しい生活様式の実践指導や食育に関する指導の充実
 - 放射線教育、コロナ対策に関する指導の充実
- ⇒体力調査：全国平均＋1

＜信頼される学校＞

- 1 わかりやすい情報の発信に努めます
 - 学校だより、保健・給食だより等の定期的発行(月2回以上)
 - 学校評価の実施と評価結果の公表
 - 学校Webページ、一斉配信メールシステムによる発信
 - 2 地域を理解し保護者との連携を深めます
 - 学年PTA、部活動、保護者会等の実施
 - 6校PTA、愛育園、学校評議員、地区との連携
 - PTA行事への積極的参加
 - 3 使命感を高め不祥事防止に努めます
 - 校内服務倫理委員会の定期的開催
 - 相互理解に基づく、チーム学校としての教育活動の展開
- ⇒開かれた学校調査結果：95%、教職員不祥事発生件数：0

PDCAサイクルで常に点検・評価、改善に努めます

＜心豊かな人間性・社会性＞

- 1 自己有用感や自己肯定感を高める指導を充実します
 - QUアンケートを活用した親和的な学級づくり（いじめの早期発見・対応、不登校の未然防止、学力向上）
 - 一人一役など、集団の一員として貢献する機会の充実
 - 2 生命の大切さと人道を基盤とした思いやりや奉仕・親善の心を育む道徳教育を充実します
 - 性に関する指導の充実
 - 人権尊重、規範意識やマナー、モラルの指導の充実
 - 3 キャリア教育を充実します
 - 職業観・勤労観（ワークキャリア）を育み、一人一人の社会的・職業的自立（ライフキャリア）を促す。（自分らしい生き方）
 - 学校全体で取り組む組織的、計画的な実施
- ⇒不登校復帰率：30%、いじめの早期発見・早期解決

＜安全指導・環境整備＞

- 1 自ら考え、判断できる安全・防災指導を実践します
 - 安全に関する日常生活における自己管理能力の育成
 - 自転車の乗り方等、登・下校時の交通安全指導の徹底
 - 避難訓練、防災教育の推進「まもるいのち ひろめるぼうさい」
 - 2 学ぶ環境づくりに努めます
 - 清掃指導や掲示教育など学習環境を整える指導の充実
 - ICT機器の整備、図書館の有効活用
 - 体験的ボランティア活動や清掃活動等を通じた勤労・奉仕の精神の涵養
 - 3 ネットトラブルの未然防止に努めます
 - ネット犯罪・トラブルからの回避力の育成
 - ネットゲーム、携帯・スマホ等のコントロール力の育成
 - 4 豊かな教育環境の形成を目指して働き方改革に努めます
 - 会議や行事の精選、時間外勤務の削減、一斉下校日の設定
- ⇒登下校時の事故発生件数0、ネットトラブル発生件数：0